

令和2年度の自己評価結果公表シート

1 園の教育目標

- ①心身ともに健康でたくましい子ども
- ②全てのものを慈しみ思いやれる子ども
- ③自分の思いや感じたことを素直に表現できる子ども
- ④自分の考えたことを行動に移し最後までやり遂げる子ども
- ⑤人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる子ども

2 令和2年度の学校評価の目標や計画

- ① 集団であそぶことが楽しいと感じ、あそぶ中でいろいろなルールを知り守ってあそべるように指導する
- ② 一人ひとりの指導にあたり幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目標としてかかわり指導していく
- ③ 新型コロナウイルス感染症に対する対策をした上でできる活動を工夫していく

3 評価項目の取り組み状況と達成度評価

204/293 人中(中間アンケート)

	評価項目	取り組み状況	保護者による達成度評価 (%)	教職員による達成度評価 (%)
保護者・教職員	園の教育目標の達成を確認しながら子どもたちの成長ぶりを評価した。	教育目標が達成するよう教育課程を基に保育を進め、子どもを一人ひとり見つめ関わっている。	98.1	89.5
	子ども一人ひとりに生活習慣が身につく、友だちとのよい関係が築けているか 子ども一人ひとりが自分の力を十分発揮できているか。	生活習慣を身につけさせる 子どもの思いをじっくりと聞き、子ども同士のかかわりが十分持てるように配慮、援助している。いろいろなことを体験できるようにしている。	96.4	87
	健康についての配慮を色々としているが、健康管理に役立っているか。(おたより、けが、病気への対応、食育の指導など)	ほけんだよりでお知らせをしたり、健康管理について子どもたちの意識も高めている。またけがや急な体調不良の時保護者にしっかり状況を伝えるようにしている。感染症の情報提供も行った。	99	94.7
	避難訓練や、防犯、交通安全教室などを行っているが、その取り組みの成果はどうか。 危険な遊びをしていないか。	警察や消防署と連携して園内で指導をしていただく機会を作ったり、長期休暇前に子どもたちに交通ルールや防犯に関する話をしている。また外あそびや自由あそびには看護する教師がいるようにしている。	95	89
	いろいろな情報はお手紙で周知できるようにしているが分かりやすく伝わっているか。	お手紙は、保護者にわかりやすいよう詳しく記すようにしている。また急なお知らせはアプリを利用して迅速に知らせるようにしている。	96	91.8
	子育て支援、預かり保育は保護者の求めているものになっているか。	11時間開園における預かり保育をしている。またカウンセリングも、臨床心理士の先生に来園していただいている。(月2回) 未就園児への園庭開放を行っている(月1回) 未就園児の親のおしゃべり会を行っている。(週1回)	91.5	86
	施設整備の充実と維持管理をして子どもが楽しくすごせるように配慮できているか。	室内、室外ともに子どもたちが楽しくすごせるように遊具などを整備している。子どもたちにあそびが深まり広まるような声かけをしている。	94.5	83.3

※(A)100%~80% (B)79%~60% (C)59%以下 と評価する

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>4月から6月にかけて新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、登園自粛や分散登園となり、新しいクラスや友だちに慣れた頃に夏休みとなってしまった。その後もクラス単位での活動しかできず、多人数で集まる合同保育や行事の集まりなども行うことができなかった。</p> <p>マスクをつけたり、密になりすぎないように気をつけて遊ぶことは小さな子どもたちにとってなかなか難しいことだったが、先生と一緒に気をつけられる範囲気をつけての生活を送った。</p> <p>制限のある生活の中でも子どもたちに大切な経験ができるように保護者の方々の協力を得て運動会、造形展、生活発表会を行えるようにした。子どもたちにとっては発表する場があったことは大きな達成感を感じ、ほめられたことから一人ひとりの力を育てることができた。</p> <p>今年度の職員による達成度評価が90%以下が多く、今までの中で一番低いと感じるが、これは感染症対策をしながらできるだけ取り組んだとはいってもやはり不十分さを感じることもあった結果ではないかと思う。</p> <p>できなかった活動の中でもとりわけ合同保育などの大切さが、この年の動きから解ったので次年度には工夫をして行っていければと思う。</p> <p>また保護者の方に園内の子どもの様子を見ていただくことができなかったので感染症対策をしながら見ていただけるような機会をつくっていかれたらと思う。</p>

5 今後取り組むべき課題

- ① 家庭から離れることの子どもの不安をとりのぞき、少しずつ登園したいと思えるように保育の計画をたてる
- ② 集団であそぶことが楽しいと感じ、あそぶ中でいろいろなルールを知り守ってあそべるように指導する
- ③ 新型コロナウイルスへの対策をしながら生活する中で、友だちや先生とのかかわりから得ることのできる大切な経験をしていく
- ④ 一人ひとりの指導にあたり幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目標としてかかわり指導していく

6 その他のご意見について

アンケートに書いていただいたご意見については教職員で確認し、今後の改善に役立てていけるようにする。教職員の反省や気づきになったり、はげみとなるご意見などもたくさんいただき、ありがたく思った。



保育を観察した時、コロナ禍の中、対策をしながらの生活は大変で、いろいろ工夫して子どもたちによりよい経験をさせてあげようとされていることがよくわかりました。その中で子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。

まだコロナ対策での生活が続くと思いますが、子どもたちが伸び伸びと過ごせる時間を大切にしていってほしいと思います。

保護者の方の評価値が高いのは園への信頼が大きいからだと思われるので教職員の方々はこれからもコロナ対策をしながらも、子どもたちをしっかりと成長させる指導の工夫をしていただきたいと思います。

学校関係者評価委員会